

子育て伝言板

身近な自然の中で

栄町保育所 主査 石山裕子

最近の子どもたちは、外で遊ぶことが少なくなり、運動能力も20年前に比べると著しく低下しているといわれています。

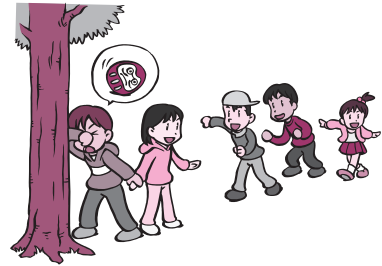
運動能力を高めるには、幼児期から外で遊ぶなどして体を動かす習慣を身に付けることが大切です。

また、運動能力を高めることで、体力の増進を図ることもできます。

近年は、小さな子どもが犠牲になる事件が発生し、子どもの安全の確保が問題になっていきますので、子どもにとって一番身近な存在である親が、自然の中で伸び伸びと遊んであげることが大切です。

保育所では、気温の上昇に伴って、外遊びの機会が多くなり、たんぽぽの花が咲き乱れる園庭で、鬼ごっこなどをしています。

わたしは、子どもたちの要望で『鬼』の役をすることもあり、子どもたちの足の速さに追いつけず、すぐに息切れをしてしまいますが、子どもたちはとても喜び、まぶしい笑顔を見せてくれ、「先生は子どもどものとき、お母さんとどんな遊びをしたの」と話し掛けてきます。



幼児期の子どもがいる家庭では、発熱や食欲不振など、予想できないたくさんの難問に出くわすことが多く、心配の絶えない毎日が続くこともあります。

比較的运动能力の低い子どもでも、体を動かす習慣を身に付けることで、運動能力が向上することも少なくありません。

子どもたちの成長はとても早く、すぐに大きくなってしまいます。

親の影響を大きく受ける幼児期は、運動能力を高めるためにも、親子で出かけ、自然の中で笑い、会話をし、そして思いっきり体を動かす喜びを教えてあげてください。ほんの短い時間でも、一緒に遊んであげると、最高の笑顔を見せてくれます。

▼問い合わせ 子育てグループ

(☎5634)

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

子育てサークル『子ぐまの会』

子育てサークル『子ぐまの会』は、1歳から就園前までのお子さんのある家庭を対象としたサークルです。

現在、会員は登別地区に住む7家族で、月1・2回、10時30分から12時まで公園や登別子育て支援センターなどで活動しています。

「同じ年齢の子どもを持つ親同士の情報交換や、子どもたちだけで遊ぶ機会を与えることを目的に活動しています」と話すのは会長の川原友美さん。

「子どもは、親と遊ぶだけではなくなかなか成長しないといわれていますので、みんなで集まり、集団生活を体験させることは、子どもの成長にとってとても良いと思います。親も、子育てに関する同じような悩みや問題を抱えていますので、悩みや問題を相談すること



子ども同士を遊ばせながら、親同士で情報交換しています



で、解決できたり、育児のストレスを発散させたりできます。子どもだけで遊ぶ機会がない方やそろそろ集団生活を体験させたいなど思っている方は、ぜひ一度遊びに来てください」と川原さんは入会を呼び掛けていました。

入会して1年になる松岡景子さんは、「子どもが1歳7カ月の時に入会しました。以前は引込み思案だった子どもが、活発になり友だちもでき、すごい成長したと思います。ほかのお母さんたちと話もできますので、わたしにとってもすごく楽しい場所になっています」と話してくれました。

子ぐまの会は、季節を問わずなるべく外での活動を目指しているそうです。

入会を希望される方は、川原さん(☎33184)までどうぞ。